

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成27年12月3日 (2015.12.3)

【公表番号】特表2014-534810(P2014-534810A)

【公表日】平成26年12月25日 (2014.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-071

【出願番号】特願2014-535856(P2014-535856)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 G

C 1 2 Q 1/68 Z N A A

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 P 21/02

A 6 1 K 48/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月13日 (2015.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象における筋萎縮性側索硬化症 (A L S) の治療に使用するための、h s a - m i R - 1 5 5 中に存在する少なくとも 7 ヌクレオチド の連続配列、に相補的な配列を含む抑制性核酸。

【請求項 2】

少なくとも 1 種の抑制性核酸が、アンタゴミアである、請求項 1 に記載の 抑制性核酸。

【請求項 3】

アンタゴミアが、配列番号 2 6 2 の配列を有する、請求項 2 に記載の 抑制性核酸。

【請求項 4】

少なくとも 1 種の抑制性核酸が、アンチセンスオリゴヌクレオチドである、請求項 1 に記載の 抑制性核酸。

【請求項 5】

少なくとも 1 種の抑制性核酸が、リボザイムである、請求項 1 に記載の 抑制性核酸。

【請求項 6】

少なくとも 1 種の抑制性核酸が、対象の髄液 へ の注射 用 に製剤されている、請求項 1 に記載の 抑制性核酸。

【請求項 7】

注射が、頭蓋内注射である、請求項 6 に記載の 抑制性核酸。

【請求項 8】

注射が、髄腔内注射である、請求項 6 に記載の 抑制性核酸。

【請求項 9】

少なくとも１種の抑制性核酸が、１種または複数のカチオン性ポリマーおよび／またはカチオン脂質と複合体化されている、請求項１に記載の抑制性核酸。

【請求項１０】

筋萎縮性側索硬化症（ＡＬＳ）を治療するための対象の選択方法であって、

対象からのＣＤ１４<sup>+</sup>ＣＤ１６<sup>-</sup>単球中のマイクロＲＮＡ h s a - m i R - 1 5 5のレベルを決定すること；

対象からのＣＤ１４<sup>+</sup>ＣＤ１６<sup>-</sup>単球中のマイクロＲＮＡ h s a - m i R - 1 5 5のレベルを、マイクロＲＮＡ h s a - m i R - 1 5 5の参照レベルと比較すること；および

ＣＤ１４<sup>+</sup>ＣＤ１６<sup>-</sup>単球中のマイクロＲＮＡ h s a - m i R - 1 5 5のレベルが前記参照レベルと比較して増加している対象をＡＬＳを治療するために選択することを含む、方法。

【請求項１１】

臨床試験に参加させるための対象の選択方法であって、

対象からのＣＤ１４<sup>+</sup>ＣＤ１６<sup>-</sup>単球中のマイクロＲＮＡ h s a - m i R - 1 5 5のレベルを決定すること；

対象からのＣＤ１４<sup>+</sup>ＣＤ１６<sup>-</sup>単球中のマイクロＲＮＡ h s a - m i R - 1 5 5のレベルを、マイクロＲＮＡ h s a - m i R - 1 5 5の参照レベルと比較すること；および

前記参照レベルと比較して、ＣＤ１４<sup>+</sup>ＣＤ１６<sup>-</sup>単球中のマイクロＲＮＡ h s a - m i R - 1 5 5のレベルが増加している対象を、臨床試験に参加させるために選択することを含む、方法。

【請求項１２】

参照レベルが、閾値レベルである、請求項１０または１１に記載の方法。

【請求項１３】

参照レベルが、対照の対象からのＣＤ１４<sup>+</sup>ＣＤ１６<sup>-</sup>単球中に見出されるレベルである、請求項１０または１１に記載の方法。

【請求項１４】

マイクロＲＮＡ h s a - m i R - 1 5 5が、任意に配列番号５９を含んでいてもよい、前駆マイクロＲＮＡである、請求項１０または１１に記載の方法。

【請求項１５】

マイクロＲＮＡ h s a - m i R - 1 5 5が、任意に配列番号５８を含んでいてもよい、成熟マイクロＲＮＡである、請求項１０または１１に記載の方法。